

皆さま、師走しわすに入り寒さが増しましたが、いかがお過ごしでしょうか？今年も早いもので残り10日ほどになりました。

11月14日(水)、1・2年生の各クラスにおいて、人権教育LHR公開授業が行われました。授業参観後は、保護者研修懇談会を行いました。6名の参加があり、参加した保護者が、それぞれの思いを語り、活発な意見交換ができました。

また、10月17日(水)には、人権教育全校講演会が開催され、講師の坂田かおりさんをお招きし、『いのち輝いて生きる』というテーマで部落問題を中心に、障がい者差別や、在日外国人差別の内容も取り上げられ、あっという間の90分でした。

公開授業と、全校講演会の内容を、少しでもお知らせできればと思います。

育友会人権教育専門部長 牧田 かおり



## 人権教育LHR公開授業

11月14日(水)人権教育LHR公開授業(14:35~15:35の60分間)を行われました。当日は、保護者11名、外部機関より6名の参観がありました。公開授業後の保護者研修懇談会では、授業を参観した感想や、参加保護者自身の人権教育に対する考え方を話し合ったり、現在の人権教育の実施状況や、最近起こった差別の実態などを確認したりしました。

### ◎1年:「自らの課題とは」~識字から学ぶ~“銀行窓口でのやりとり”から考える

文字が書けない人が、銀行へ行きました。その人は、窓口の人に「老眼で、ぼやけて字が見えないので代筆をお願いします」と嘘を言って代筆してもらいました。次に銀行に行った時、再度、代筆をお願いしたら『カウンターにメガネを置いたので、そちらをご利用ください』と言われてしまいました。この人は、「私は字が書けないのです」と言えず、代筆を頼めなくなり、銀行に行きにくくなってしまいました。

正直に言えない社会では自分らしく生きられません。ではなぜこの人は正直に言えなかったのでしょうか。「無知・無関心・無意識」では自分らしく生きる社会は作れない、そして、それが差別に繋がることもあるんだ、ということに気づいてほしい授業です。



◎担任の先生の話聞きながら、熱心に考える生徒の姿が印象的でした。

## ◎2年：テーマ別による人権教育LHR（調べ学習を通して自らの課題を考える）

クラス	クラス別学習テーマ
2年特進	「男女共同参画社会」を通して考える
2年健総1組	「男女問題」～身近な差別から考える～
2年健総2組	「LGBT（性的マイノリティ）」の調べ学習を通して自らの課題を考える
2年調理科	「男女共同参画社会」の理解と実現にむけて～自分らしい生き方をめざして～



### ～保護者研修懇談会より～（一部抜粋）

#### <1年生保護者>

- ・「識字」というものを詳しく知らないので参観したい気持ちだったが、時間に間に合わなくて残念だった。授業の様子から子どもの顔でも見れたら、理解できているのか、どう思っているのかを読み取れて、親子で話をするキッカケに出来ればよかった。
- ・“クラスも小さい社会の一つである”として考えて、「みんなが暮らしやすくしていくにはどう考えていったらよいか？」との問いに対して、一人の生徒の発言に同調するだけではなく、もっと様々な生徒の思いを聞きたかった。

#### <2年生保護者>

- ・家庭で起こりうる日常での男女の参画を、我が家と照らし合わせながら参観した。
- ・育児において、今の社会は「イクメン」と呼ばれることで、男の人参加しやすい社会になりつつあるが、都会と地方であったり、大手と中小企業でも多分違っており、子育てを推進する企業もあるが、まだまだ男性が子育てに参加することが寛容的ではない企業は多いのではないだろうか？
- ・法律や選挙など、以前に比べて男女の価値観に変化はありつつも、いまだ日本特有な文化や生活体系が主体である中で、色々な角度から男性・女性を捉えつつ、また自分たちが生きてきた生活を振り返り、家庭・学校・地域のあり方を自分なりに考える時間ではなかったか。さらに高校の3年間という期間で、「知ってから学ぶ」や「学んでから知る」こともあるだろうが、特色ある授業を通して質の高い人間形成が出来ていければいい。
- ・関白宣言が現代風に歌詞をアレンジしていて面白い思考だった。

ウラへ続きます

2年特進コースの1つのグループにおいて、面白い替え歌が披露された。1979年にCDリリースされた関白宣言を現代風にアレンジしたものである。当時はこの歌詞をめぐる女性軽視や男尊女卑などと大きな話題を呼んだそうであるが、その歌詞を、元の歌詞と、アレンジした歌詞に分けて一部紹介する。

#### (元の歌詞)

お前を嫁にもらう前に言っておきたいことがある かなりきびしい話もするが俺の本音を聴いておけ  
俺より先に寝てはいけない 俺より後に起きてもいけない  
めしは上手く作れ いつもきれいでいろ 出来る範囲で構わないから

#### (アレンジした歌詞)

あなたがお嫁さんになる前に言っておきたいことがある かなりきびしい話もするが私の本音を聴いて  
ください  
私より自由な時間に起きて寝てください  
一緒にご飯を作ろう 一緒にお肌ケアしよう 出来る範囲で構わないから

### 人権教育公開 LHR から感じたこと

### 人権教育部長 門原 広憲

特進や調理においては、3年間クラスが変わらない。人権教育をとおして、クラスの中に今ある問題点と照らし合わせながら、3年間のクラスづくりに繋げていっているようである。知って次に生かす、学んだことを理解する。この人権教育の授業で終わるのではなく、この授業をとおして、普段の学校生活の中でも人の発言や行動に対して違和感に気付ける人であってほしい。

人権教育 LHR とは、他者の考えや想いを受け止め尊重しながら、自分の考えを見つめなおし、自分と向き合うことで、自分の考えと他者との違いに気付いたり、互いの想いや考えを共有したりする機会である。この時間の大切さを改めて感じた時間となった。

### 人権教育全校講演会「いのち輝いて生きる」～部落問題～

10月17日(水)講師に坂田かおりさん【人権テイクルート（根を張るという意味）代表】をお招きして、全校講演会を行いました。



## ～ 人権教育全校講演会 参観者の感想より ～

私が今回の講演会で心に残ったのは、「被差別部落出身の母親から生まれてきた子は部落出身と言えるのかどうか」という質問に、坂田さんの2人の子どもが出した答えが違っていたという内容です。同じ環境で育っていても、違う考えだったという話に、改めて人権教育の大切さを実感しています。差別問題を「寝た子を起こすな」という考え方で必要ないと思われる方もあると思います。知って幸せかどうかは別として、差別問題がある現実を正しく知り、「自分の考えをしっかりと持ち自分の発言に責任を持てる大人になるための学びである」と坂田さんの講演を聞いて思いました。

両親のどちらかが部落の出身だったら、部落地区で生まれ育ってなくても、子どもは部落出身になってしまうのだろうか？講師の坂田さんからの質問で、この質問が一番考えさせられました。私は、部落出身ではなくなるでしょ！と思っていたのに、部落出身でしょ！と思っておられる方がいてわからなくなりました。部落差別って本当に奥が深くしっかりと勉強しないと、間違った考え方になってしまうなと思いました。

坂田さんの語られる言葉の力に圧倒されっぱなしでした。それは「学校の先生には語れない内容」だからということだけではない気がしました。自らの経験を通して感じた事を誤解を恐れず自分の言葉で語られました。そこには大きな責任があります。時には非難されることもあるでしょう。しかし坂田さんは、全て覚悟の上で生徒たちにぶつかって下さいました。どのような形にせよ、生徒たちの心には、確実に何かが刻まれたことと思います。今回の講演が、子どもたちが自分について振り返り、深く考えるキッカケになってくれたら嬉しいです。

今日の講演は子たちに向けてという事でしたが、私が一番感じたことは、親が聞くべき内容だということです。親の発言や行動がどれだけ子どもの思考を変えるか、決めるか、命の大切さはもちろんのこと、しっかりと子どもたちと話していかないといけないと・・・学校だけでなく、私たち親がしてやれる人権学習について、改めて考えさせられる時間でした。

### あとがき

部落差別のみならず、あらゆる差別問題の学習を重ねたたびに、知らないことの多さを実感します。「知らなければ考えることもしなかった」という人もいますが、「知ることで気付くこと、知らないこと、気付けないこと」を強く感じました。その考えを持ったことにより、人をうわさ話や先入観で判断しなくなったように思います。そして、改めて私がいるこの世の中すべてのことが当たり前ではないことを知らされました。友だちの存在、家族の存在、祖先の存在、それぞれ皆さんにとってどのような存在であるのでしょうか？ また、そこにいる自分はこういった存在となっているのでしょうか？生徒のみならず、保護者の方も私たち職員も一度考えてみて欲しいと思っています。そして平成最後の年越しをまた新たな気持ちで迎えていただきたいと思います。